

第7回千曲市自転車活用推進計画検討委員会 会議録概要

- 開催日時 令和5年7月27日(木) 午後1時30分～午後3時00分
- 開催場所 千曲市役所3階 302中会議室
- 出席者 委員：11名(欠席者2名)
アドバイザー：国土交通省長野国道事務所 交通課長：磯田 洋一
関係部局：5名(総務課職員係長、健康推進課健康増進係長、観光課観光誘客係長、都市計画課計画係主幹、教育総務課学校教育係1名)
事務局：5名(道路河川課長、建設係長、建設係1名、日本海コンサルタント2名)

1 開 会 建設河川課長

2 あいさつ 委員長(若林)

大変暑い時期になってきた。戸倉上山田温泉から千曲市役所までの道中には、積乱雲のような雲が発生しており、最近の気象状況が激変を実感した。

朝、千曲川沿いを散歩していると、涼しい時間帯に多くのサイクリストがサイクリングロードを走っているのを見かける。

委員会の発足後、ここ数年で、自転車の利用環境が大きく変わってきている。今年の4月からは、ヘルメットが着用努力義務化となり、自転車利用者のヘルメット着用が多く見られるようになった。

昨年度、長野県が女沢公園のトイレの新設し、多くのサイクリストから好評の声をいただいている。また、県外からサイクリングを目的に訪れる人も増えており、私の大学の友達もサイクリングを目的に長野県を訪れ、上田市から戸倉上山田温泉、屋代までのサイクリングルートに絶賛しており、大変うれしく思った次第である。

自転車活用推進計画を基礎として、自転車環境が改善されてきており、本日の中間報告と皆様の意見をいただきながら、自転車活用推進計画に反映していければと思っている。

3 会議事項

(1) 千曲市自転車活用推進計画の進捗状況

○資料1～3について説明

[質疑応答]

委員（タイラー） 確認であるが、施策 20 にしなの鉄道と連携したサイクルトレインのモニターツアーを実施したと書いてあるが、具体的な実施内容を教えていただきたい。

事務局 2022年10月9日（日）～10月10日（月・祝）で、モニターツアーを実施した。難易度別に全3班のコースが設定しており、1日目は、A班が軽井沢駅、小諸駅、千曲市総合観光会館の約70km、B班が小諸駅から千曲市総合観光会館の約40km、C班が信濃国分寺駅から千曲市総合観光会館の約43kmであった。2日目は、A班が千曲市総合観光会館から古間駅までの70km、B班・C班が千曲市総合観光会館から三才駅まで行き、電車で古間駅までの40kmのモニターツアーが計画・実施された。

委員（タイラー） モニターツアーの結果を踏まえ、しなの鉄道に自転車を載せられる環境整備をできると良い。

事務局 現在、千曲市の職員が、しなの鉄道と人事交流をしているため、様々な企画を計画・実施をしていきたい。

委員（久保） 最近、車だけでなく自転車に乗る機会が増えてきた。万葉橋や大正橋を渡ることがあるが、歩道を走る学生や車道を走る学生が見られる。自転車ルールの周知方法や自転車レーンなどの道路整備状況を教えてほしい。

事務局 令和6年度整備方針（案）（資料4）でも説明する予定であるが、自転車の通行空間整備は、徐々に進めている。

自転車ルールの周知方法は、担当課に情報共有をしながら進めていきたい。

千曲警察署で、自転車ルールの周知のための活動があれば、情報共有してほしい。

委員（小林（博）） 自転車は軽車両であるため、車道を走ることが原則であるが、普通自転車歩道通行可の標識がある区間は、自転車の歩道通行が許可されている。また、自転車利用者が13歳未満の子供、70歳以上の高齢者、身体が不自由の方は、歩道を通行してもよい。その他にも、工事をしている区間や交通量が多い道路など、安全上、歩道の通行がやむを得ない場合は、自転車は歩道を通行できる。

交通安全教育は、新入学の時期や5月の春の交通安全運動の時期に、交通安全講習を実施している。特に、高校生には、自

- 転車の交通ルールを中心とした内容としている。
- 委員（タイラー） 自転車活用推進計画の進捗状況の調査で、道路の交通量調査もしているのか。
- 事務局 令和2年度にアンケート調査を実施した。サイクリング利用路線の整備コース数やサイクリングをしている人の割合などを把握しているが、具体的な利用路線の調査はできていない。
- 委員（タイラー） 自転車の利用環境整備をしており、整備効果を調査するためにも、アンケート調査だけでなくサイクリング利用者の実態調査をしてほしい。
- 事務局 サイクリング利用者の実態調査・交通量調査を検討していきたいと思う。
- （後ほど補足）交通量調査は、千曲市観光課が令和4年10月の平日と11月の休日に実施しており、今年度も交通量調査をする予定である。調査結果は、後日共有していきたい。
- 委員（梶） 中体連の部活動が減少しており、他の中学校と合同で部活動をする事が多くなっている。他の中学校や施設で部活動をする際、多くの学生が自転車を利用しており、移動ルートには、ガタガタな道も多く見られる。学生が利用するルートを把握しているのか。
- 委員（小林（克）） 千曲市では、今年度より千曲坂城クラブの活動が始まった。中学校合同の部活動は、主に週休日のみであるが、所属する中学校に部活動がない場合や少人数で練習が成り立たない場合は、平日でも他の中学校で練習する子がいる。距離が近い場合は、自転車の利用も多く見られる。距離が遠い場合は、バスやタクシーなどで部活動の支援をしている。
- 少子化の影響で、各中学校が単独でチームを作ることが難しく、今後市内の中学生は、希望する部活動に合わせて中学校を選ぶことが考えられる。中学生の自転車を使った移動は、これまで以上に増えてくると考えられる。
- 事務局 道路整備は、自転車活用推進計画の基盤整備に当てはまる。市道、県道、国道と連携を図りながら、自転車のネットワーク路線の整備をすすめていき、安全な通行空間にしていきたい。

(2) 令和6年度以降における自転車通行空間整備方針(案)

○資料4について説明

[質疑応答]

委員(小林(克)) 自転車通行空間の整備路線は、あまり広くない道路だが、朝の時間帯は多くの小・中学生が歩いている。また、自転車の通行やこども園の送迎車の往来が多く、普段から危険であると感じている。通行空間整備により、歩行空間や自転車通行空間が確保され、車の速度低下につながればよい。

(3) 令和4年度シェアサイクル社会実験の結果

○資料5について説明

[質疑応答]

委員(タイラー) シェアサイクルは今年度で3年目の社会実験であるが、来年度以降シェアサイクルの導入を考えているか。また、導入に向けた利用者数や利用回数の目標や目安があるのか。

観光課(飯島係長) 社会実験期間中は、利用状況の有無など未知数な部分が多く、目標数値の設定はしていない。来年度以降のシェアサイクルの本格導入の検討では、利用者数や利用回数だけで判断することはせず、利用効果などを踏まえて、検討していきたい。検証結果を見ると、利用が多いポートは観光地が多く、観光振興の部分では一定の利用があることが把握できている。

委員(タイラー) 社会実験期間中は、長野県の元気づくり支援金があったが、次年度以降は、千曲市の単体事業となる。事業性を確保するために必要な利用回数などの目安があるのか。

観光課(飯島係長) 都心部の人口が多い所であれば、事業性の確保できるが、千曲市の事業規模では、収入が少なく事業性の確保は難しい。ただ、行政がシェアサイクル事業を実施するメリットとして、しなの鉄道からの二次交通の確保やマイカーの乗換えによるゼロ・カーボンなどの効果がある。シェアサイクルの導入は事業性だけでなく、行政として必要な効果を考えながら検討していく。

委員(小林(博)) 法改正に伴い4月よりヘルメット着用が努力義務化となったが、シェアサイクル利用者に対する周知はどのようにしているか。

観光課(飯島係長) 利用者には、パンフレットなどで周知をしている。また、千曲市総合観光会館や日本遺産センターの有人窓口で、ヘル

メットの無料貸出をしている。シェアサイクルのメリットは、無人で貸出ができる点であり、ヘルメット着用は個人の判断であるため、利用者に対して、ヘルメット着用を強制することはできない。

委員（梶） 自転車利用者でヘルメットを着用していない人に対する罰則などがあるのか。また、電動キックボードやシェアサイクルについて、ルールの緩和などがあるのか。

委員（小林（博）） 4月の法改正は、ヘルメット着用の努力義務化であり、罰則はない。努力義務化になった経緯は、事故が起きた際に重大事故につながりやすいからである。自分の命を守るために可能な範囲でヘルメットの着用を促していきたい。夏のやまびこ運動の期間中には、自転車の通行量が多い場所で、ヘルメット着用の街頭啓発活動をしている。

同様に法改正された電動キックボードの利用に関する問い合わせは、千曲警察署管内ではないが、自転車や電動キックボードの利用は、交通ルールを知った上で利用する乗り物であるため、免許を持っていない人に対する周知・啓発方法を考えていく必要がある。

（4）千曲市自転車活用推進計画の中間評価

○資料6について説明

[質疑応答]

委員長（若林） ヘルメット着用の努力義務化は、自転車利用者の意識が大切である。今回のアンケート調査では、ヘルメットに対する意識の部分を把握できると思う。

特に、ご質問・ご意見がないので、調査票については、計画通り8月上旬に発送することで進めてほしい。

（5）その他（委員からの情報共有）

○資料7について説明

[報告]

委員（関） 「上田千曲長野自転車道線の女沢公園のトイレ改修」について

千曲建設事務所からご報告とお礼となるが、女沢公園のトイレのリニューアル工事が令和5年度に完成し、令和5年4月20日より一般利用が開始された。協力いただいた関係者

の皆様にお礼を申し上げたい。

委員（タイラー） 「ちくまサイクリングクエスト」について

10/9に「チクマサイクリングクエスト」を開催する予定である。市内約50箇所にポイントを設置し、ロゲイニング形式のイベントである。市民や観光客に、千曲市の魅力を知る機会となるサイクリングイベントとなれば良いと考えている。

アドバイザー
（磯田） 「自転車の利活用に係る国の動向」等について

国土交通省では、「安全で快適な自転車通行空間ガイドライン」をH24年に策定、H28年に改定しているが、社会情勢の変化を踏まえて、現在、改定中である。今回、配布したR5年の最新のガイドライン（案）では、PDCAサイクルの強化なども含まれており、事業前と事業後の評価が重要である。アンケート調査、GPS調査、PT調査などが通行環境の整備や今後の整備計画を作成する際の参考にしてほしい。

4 閉 会
建設河川課長

以上